



令和8年1月5日
統合幕僚監部

ロシア海軍艦艇の動向について

令和7年12月28日（日）午前6時頃、海上自衛隊は、宮古島（沖縄県）の東約160kmの海域において、同海域を北西進するロシア海軍ヴィシニヤ級情報収集艦（艦番号「535」）を確認した。

その後、当該艦艇が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、久米島の接続水域内を航行した後、12月30日（火）に対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行したことを確認した。

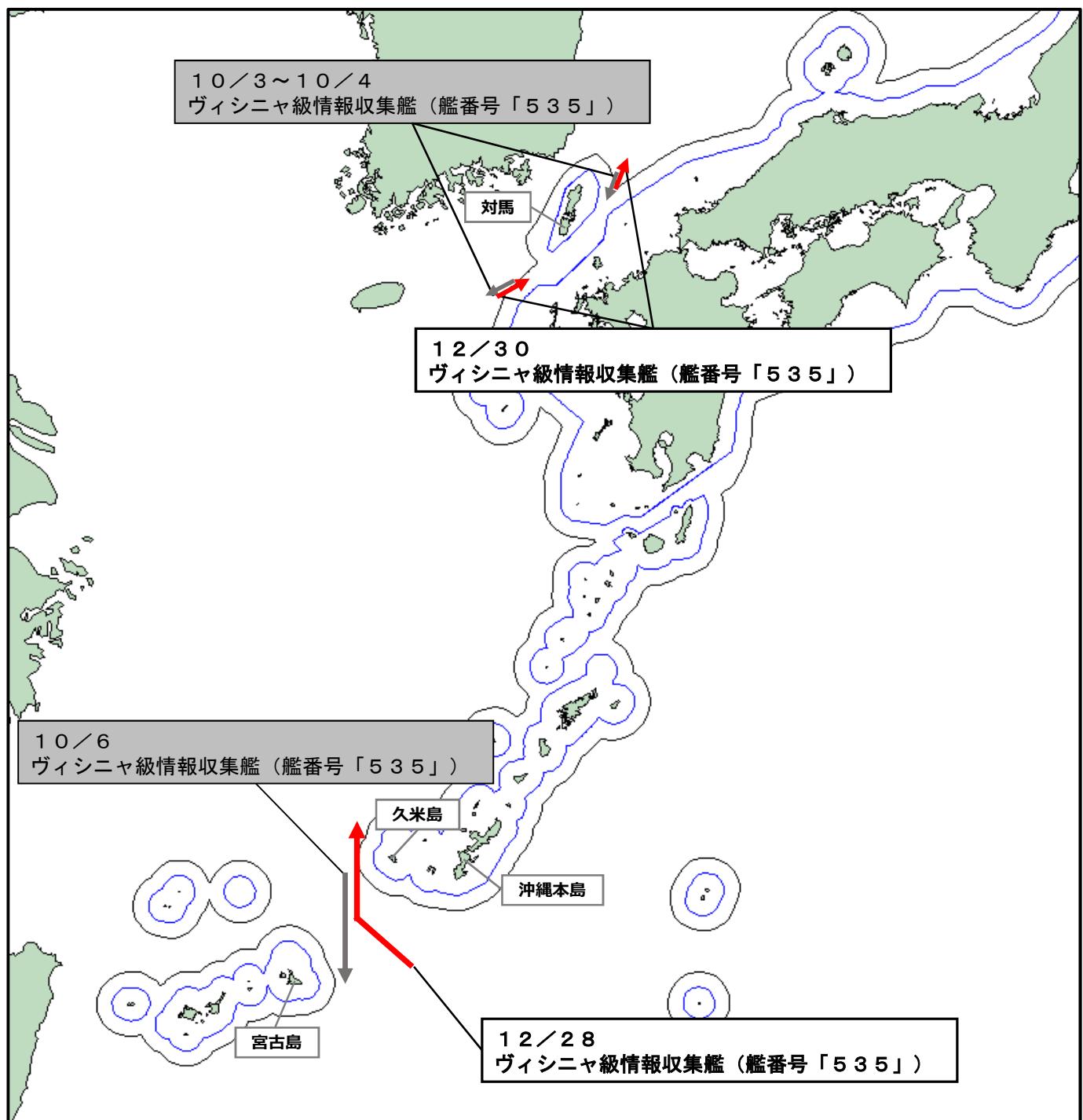
なお、当該艦艇は、10月3日（金）から4日（土）にかけて、対馬海峡を南西進した後、10月6日（月）に沖縄本島と宮古島との間の海域を南進したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第46掃海隊所属「しげじま」（沖縄）、佐世保警備隊所属「あまくさ」（佐世保）、第4航空群所属「P-1」（厚木）及び第5航空群所属「P-3C」（那覇）により、警戒監視・情報収集を行った。

ヴィシニヤ級情報収集艦（艦番号「535」）



行動概要



→ : ロシア海軍艦艇
□ : 今回公表
■ : 既公表